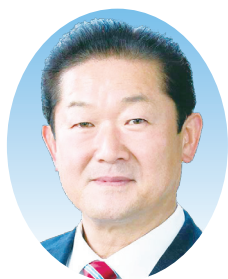


# 市政に対する

# 一般質問

各質問議員の  
QRコードからは、  
それぞれの一般質問の  
動画をご覧いただけます。



大瀧 和弘 議員

- 市政運営について
- 北関東自動車道スマートインターチェンジの設置について
- 市制施行70周年記念事業について
- 海外友好都市、姉妹校交流について
- 全国いちごサミットについて
- 地籍調査について
- 教育行政について



一般質問はこちら

## 北関東自動車道への スマートインターチェンジの設置は

### 代表質問

本市の道路ネットワークにおいては、更なる広域的な連携強化や災害に強い道路網が構築されること、そして、今後の産業や観光の振興を図るためには高速道路との連携を強化することが必要です。

真岡ICから桜川筑西ICまでの区間が、北関東自動車道の各IC間の距離では最長の14.9kmとなっていることから、市内の新たな場所にスマートインターチェンジを設置するか考えはあるのか伺います。

### 答弁

スマートインターチェンジについては、整備効果が確実に見込まれることが重要です。

県や国、ネクスコ東日本等と十分協議を行い、スマートインターチェンジの設置の必要性があると国が判断した箇所は、国が直轄で準備段階調査を実施することになります。

可能性のある箇所の整備効果などを十分に検証し、実現に向けて県や国との協議を積極的に進めていきます。



荒川 洋子 議員

- 安全・安心の上下水道事業について
- ごみ屋敷対策と条例の制定について
- 重度心身障害者医療費の現物給付について
- 子育て支援について



一般質問はこちら

## 子育て支援策の一環として 学校給食の無償化を

### 質問

物価高騰やコロナ禍の影響を受ける子育て世帯の経済的負担の軽減や加速化する少子化対策としての観点から、学校給食の無償化を強く訴えます。

特に中学生の保護者は、部活動や塾などの出費がかさみ、やがて高校入学への備えを気にかけながら、生活しています。

そこで、子育て支援として、所得制限を設けず恒久的な無償化に向けた取組ができないか伺います。

### 答弁

学校給食の提供において、光熱費や人件費などは、市が負担し、保護者には学校給食費として、食材の購入費用のみ負担していただいています。

また、小中学校の児童・生徒がいる世帯のうち、経済的に困窮している世帯に、教育扶助や就学援助制度等により、給食費を含めた支援を行っていることから、中学生に限らず学校給食費の無償化は考えていません。



大隈 広郷 議員

- 新型コロナワクチンを取り巻く問題について
- 学校給食の内容及び運用改善について



一般質問はこちら

## 新型コロナワクチン接種による 死亡者数等の認識は

### 質問

2023年4月23日の時点で、全国の新型コロナワクチン接種による死亡者数は2,059名、重篤者数は26,974名にのぼります(全国有志医師の会 <https://vmed.jp/2646/>)。

このような現状を認識しているのか伺います。

また、今後ワクチンによる健康被害が増えると予想されますが、被害当事者に対する救済制度手続き等、市の今後の取組について伺います。

### 答弁

国の厚生科学審議会の報告では、ワクチン接種後の死亡例は2,057件、重篤な症例は8,537件です。

救済制度の周知については、市ホームページへの掲載やチラシの全戸配布のほか、接種券と合わせ、国の予防接種健康被害救済制度の説明書を送付しています。

予防接種後の健康被害に関する相談については、県の総合相談コールセンターや市窓口で救済制度の案内を行っています。



中村 和彦 議員

- 産業分野の諸課題について
- 教育分野の諸課題について
- 高齢者福祉について



一般質問はこちら

## 国の交付金の活用により 学校給食の無償化を

### 質問

コロナ禍や円安、ロシアのウクライナ侵攻などによる物価高騰に加え、少子化の流れが加速し、各自治体が子育て支援策を競い合うように進めています。そのような中、学校給食の無償化に踏み切る自治体が増えています。

無論、財政的な負担が決して軽いものではありませんが、国の交付金を活用すれば、本市においても早い段階で無償化できるのではないのでしょうか。

### 答弁

学校給食の提供において、経済的に困窮している世帯に、教育扶助や就学援助制度等により、給食費を含めた支援を行っていますので、学校給食費の無償化は考えていません。

また、国の交付金などの活用については、昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、給食費の値上げ分を補助していますが、無償化の財源として、充てることについては考えていません。

## 新型コロナウイルス感染症 緊急対策資金の更なる支援策を

### 質問

新型コロナウイルス感染症緊急対策資金に関しては、借り換えや利子補給など、対策を講じて頂いたところです。

しかしながら、新型コロナウイルスに加え、物価高騰などもある中で、返済が困難な場合に借り換えや、更なる利子補給の延長の考えはあるのか伺います。

### 答弁

令和3年4月にコロナ禍による業績悪化のほか、自然災害等にも迅速に対応できる常設の制度融資として緊急経営対策資金を設け、新型コロナウイルス感染症緊急対策資金からの借り換えを可能としています。

この感染症緊急対策資金は、当初3年間としていた利子補給期間を1年延長して4年間としていますが、更なる利子補給期間の延長は、今後の地域経済の状況を十分に注視しながら、必要に応じて検討します。



麦倉 竹明 議員

- 公園の利用について
- 水道事業について
- 公共交通について
- 危険な通学路について
- 真岡市新型コロナウイルス感染症緊急対策資金について



一般質問はこちら





春山 則子 議員

- 女性管理職への登用について
- 選挙掲示板について
- 芳賀地区広域行政事務組合が進める新斎場整備について
- 真岡市二宮運動公園トイレの改修について



一般質問はこちら

## 二宮運動公園内トイレの改修を

### 質問

二宮運動公園は、敷地も広く公園もあり、四季の花を楽しむことができます。

しかし、ゆっくりするととなると、どうしてもトイレが必要になりますが、公園内のトイレは男女の入口が一緒に、しかも汲み取り式です。

現在では、和式トイレの使い方も分からない子供達もいます。安全面・衛生面からも、早急にトイレを改修する必要があると考えますが、改修する考えはあるか伺います。

### 答弁

二宮運動場内には、3か所トイレが設置されています。

そのうち1か所は、男女別の水洗化されたトイレですが、ほかの2か所は、汲み取り式のトイレとなっています。

汲み取り式のトイレは、設置後40年以上が経過し、老朽化が進んでいるため、今後、改修方法等を検討していきます。



添野 郁 議員

- 市民協働のまちづくりについて
- 自転車ネットワーク計画の推進について
- 学校教育における課題について
- 文化芸術の振興と文化財の保護・継承について



一般質問はこちら

## スクールバスの運行の見直しを

### 質問

スクールバスは、学校の統廃合に伴い、児童の登下校時の安全を確保するために長年運行されています。

しかしながら、通学環境や児童数、地域の交通事情や道路事情など、年々変化しています。

このような中、スクールバスの運行を見直す必要があるのではないか、全体的な見直しはできないか伺います。

### 答弁

国の学校適正配置の通学距離の基準においては、小学校でおおむね4km以内としており、本市の小学校に通学する児童についても、基準内の距離となっています。

スクールバスの運行は、単に学校までの通学距離が長いからということではなく、統合によりこれまで通っていた学校に通えなくなってしまう学区を対象に運行しています。

しかしながら、時代の変化を考慮し、今後、検討していきます。



七海 朱美 議員

- マイナンバーカードについて
- 市営墓地における合葬墓地について
- 保育施設の安全対策について
- 学校支援相談員について
- 学校給食について



一般質問はこちら

## マイナンバーカードの課題と対策は

### 質問

報道等で個人情報の入力ミス等の問題が取り上げられています。当初からマイナンバーカードの課題とし、個人情報の漏洩リスク、セキュリティ体制への不信感、銀行口座との紐づけへの不安がありました。

まず、真岡市において入力ミスがあったのか、そのうえで、マイナンバーカードに関する問題点や課題について、どのように認識をして、それに対する対策をどのように考えているのか伺います。

### 答弁

本市においては、住民票等の誤交付及び保険証や公金受取口座情報の誤登録の事案は発生していません。

証明書の誤交付を防ぐ対策として、証明書発行サーバー及び関連システムを総点検しています。

誤登録を防止するための対応策として、マイナポイント申込支援窓口にて、支援員が使用する端末をその都度適切にログアウトすることを徹底し、本人以外の方の情報が紐付くことのないよう、努めています。



渡邊 明 議員

- 自転車用ヘルメット着用の本市の対応について
- ヘルプマークについて
- 行政デジタル化に伴う本市の対応について



一般質問はこちら

## 行政デジタル化に伴う対応は

### 質問

本市は、令和5年12月に仮称真岡市未来変革デジタル条例を制定するとされています。

それに伴い、デジタル化によって今後どのように変わるのか伺います。

### 答弁

12月議会において、仮称未来変革デジタル条例の提出を予定していますが、条例制定後は、市民と市役所が合意形成を図りながら「だれもが自分らしく生きられるまち都市」の実現を目指していきます。

なお、詳細については検討中ですが、デジタル技術を活用していく基本原則や、基本的事項、市民の役割などを定める理念条例を想定しています。



上原 Chor 議員

- 市制施行70周年記念事業について
- 複合交流拠点施設整備事業について
- 廃校維持について



一般質問はこちら

## 「真岡市第一子育て支援センター」及び「真岡市立図書館」の今後は

### 質問

現在ある「真岡市第一子育て支援センター」・「真岡市立図書館」はどちらも昭和40～50年代に建設され老朽化が進んでおり、頻繁に発生する雨漏り対策や空調機器、トイレの改修等が必要な状態となっています。

令和7年春に開館予定の「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」をコンセプトにした複合交流拠点施設が完成した後は、どうする予定なのか伺います。

### 答弁

「真岡市第一子育て支援センター」及び「真岡市立図書館」は老朽化によって、雨漏りや空調機器の故障が相次いでおり、施設を維持するためには多額の費用が見込まれます。

現在、建設中の複合交流拠点施設完成後は、両施設の機能が、新施設に移転することから、今後の在り方については、真岡市公共施設再配置計画の中で、施設の老朽化の状況や市民ニーズを踏まえ、取り壊しを含め、幅広く検討していきます。



佐々木 重信 議員

- 令和5年4月23日執行の市議選における市民の声について
- 市長に関する政治団体への多額の寄付金についての市長の考え及び市長の市政に取り組む姿勢において如何なのか
- 市庁舎前の複合交流拠点施設について



一般質問はこちら

## 寄付金についての市長の考え及び市政に取り組む姿勢は

### 質問

市長に関わる政治団体への多額の寄付金について、市長のお考え及び市政に取り組む姿勢について伺います。

また、市から仕事を受けている公共事業者から、多額の寄付を受けている件について、市長はどう考えているのか伺います。

### 答弁

寄付については、法令に則り、適正に処理されています。





飯塚 正 議員

- 高齢者福祉拡充について
- 学校給食費について
- 国民健康保険制度の改善について



一般質問はこちら

## 財源調整基金を活用した学校給食の無償化を

### 質問

物価高騰による生活の悪化や労働者の賃金は上がり、消費を冷やましており、子育て世帯にとって生活が大変であることから学校給食無償化を求める住民の声が一段と強まる中、全額無償化や無償化の限定期間を設定したり、半額の助成策を講じたりする自治体が出てきています。

真岡市には財源調整基金が41億円ありますが、これを活用して学校給食費の無償化ができないか伺います。

### 答弁

学校給食の提供において、経済的に困窮している世帯に支援を行っておりますので、学校給食の無償化は考えていません。

なお、財政調整基金は特定の事業のために取り崩すものではなく、年度間の財源調整のほか、災害など突発的に生じた経費や減収を埋めるための財源であるため、充当することはありません。

## 常任委員会の審査から

常任委員会で審査した議案等について、主なものの概要を掲載します。

### 6月22日(木) 民生文教常任委員会 議案第60号 厨房設備の取得について

**問** 第二学校給食センターの給食提供数を700食分増やすということだが、増える分の備品を購入するのではなく、一新するというのか。

**答** 第二学校給食センターは平成15年度から供用開始し、今年で20年となり機器更新の時期がきているため、あわせて更新するものである。

全員一致で可決

### 6月23日(金) 産業建設常任委員会 議案第57号 工事請負契約について (真岡市総合運動公園硬式兼軟式野球場夜間照明建設工事)

**問** 工事費用が高額だが、どのようなものをつくるのか。

**答** 本工事は、基礎工事を含めた柱の建築工事と、照明設備工事となっており、照明設備については、日本プロ野球機構の試合を除いた独立リーグなどの硬式野球ができる照度基準を満たしたものをつくる予定である。

全員一致で可決

### 6月26日(月) 総務常任委員会 議案第59号 消防ポンプ自動車の取得について

**問** 消防団の消防ポンプ自動車は、何を基準に更新しているのか。また、全分団における今後の更新計画は、どのように考えているのか。

**答** ポンプ車の更新基準は、購入後、20年の経過を目安に更新している。また、今後の更新計画については、今年度から令和16年度にかけ、毎年2台ずつ更新し、12年間で24部、全ての車両を更新する計画である。

全員一致で可決